



# 竹林

白河市立五箇中学校だより No. 24

発行 令和3年9月24日  
発行責任者 校長 菅野 靖



## 東西しらかわ中学校新人総合体育大会で五箇中生活躍

バレーボール女子合同チーム：第3位 小松直輝さん：男子卓球ベスト5位 鈴木優斗さん井上透矢さんペア：男子ダブル卓球ベスト16

9月21日(火)と22日(水)に東西しらかわ中学校新人総合体育大会が開催されました。バレーボール競技は表郷中学校体育館で、卓球競技は白河中央体育館で行われ、それぞれの選手が目標を達成させるために一生懸命にプレーしてきました。女子バレーボール部は泉崎中学校と合同チームでの大会への参加でしたが、見事に3位を獲得しました。男子卓球の団体戦では、予選を2勝1敗で勝ち上がり、決勝トーナメントでは惜しくも負けてしまいベスト8でした。個人戦のシングルスでは、小松直輝さん(2年)が5位を獲得し、来年度の中体連のシード権を獲得し、ダブルスでは鈴木優斗さん(2年)井上透矢さん(1年)ペアがベスト16になりました。新型コロナウイルス感染拡大の影響で練習試合を行うことができず、本番を想定した練習がなかなかできない状況での大会になりましたが、夏休みからの練習の成果と自分の力を確かめられた大会になったようです。帰校式では、今後の目標や改善点を新たにし、さらに努力していこうとする前向きな反省を選手一人一人がしていました。是非、次の大会に向け日々の努力を継続し、技術や精神力を身に付けてほしいと思います。選手の皆さんお疲れさまでした。保護者の皆さま、朝早くからの送迎や応援ありがとうございました。



- 【卓球部：高松凜さん、乾琴葉さん、佐藤綾笑さん】もう少しでセットがとれる惜しいゲームだった。1点でも2点でも取る気持ちであきらめずに試合をした。1ゲームを取れてよい経験ができた。次の県南新人卓球大会に向け練習を頑張りたい。
- 【バレーボール部：大輪凜奈さん、竹井慈乃さん】合同チームで3位になれてうれしかった。初めての大会で慣れないことが多かったが、声を掛け合ってボールをつなぐ意識で頑張った。今後の練習でサーブやレシーブ力をつけていきたい。
- 【卓球部：小松直輝さん】ベスト4を狙っていたが、ゲームでの最後の詰めが甘かった。次の中体連に向けて頑張る。
- 【卓球部：鈴木優斗さん、井上透矢さん】団体戦は少しの差であると感じた。一人だけが強くなっても勝てないので、一人一人が力をつけてチームとしての力を高めていきたい。ダブルスでは守りになっていた。自分のミスを少なくしていきたい。
- 【卓球部：鶴嶺慶翼さん】2回戦は惜しい試合だった。悪いところが見つかったので、次の大会まで練習して直していきたい。
- 【卓球部：大輪志真さん】自分なりに練習の成果をあげられたと思う。直すところがたくさん見つかったので改善を図りたい。
- 【卓球部：郷悠惺さん、佐川純真さん】相手が強くても点が取れた。目標ができたので努力をしていきたい。あきらめずに協力してプレーができた。試合を通して改善点が見つかったので、改善できるように努力していきたい。

### 秋の交通安全運動実施中

## 横断歩道では「手上げ横断」で意思表示を

秋の交通安全運動が21日から30日まで繰り広げられています。期間中、子どもや高齢者を中心に歩行者の安全確保などを推進しています。学校では、横断歩道を渡るときの「手上げ横断」を指導しております。

福島県内の令和2年まで5年間の交通事故の死者のうち歩行者は121人で34.5%を占めています。横断歩道でも事故が起きており、福島県内では横断歩道を渡ろうとしているときの車の一時停止率は27%だそうで、7割近くが一時停止をしない状況です。ドライバーからは、歩行者が道路から離れていて横や下を向いていると、横断の意思があるかどうか判断が難しいとの声も出ています。

国家公安委員会は「交通の方法に関する教則」を4月に改訂し、信号機がない場所を横断する時の歩行者の心得について「手を上げるなどして運転者に横断の意思を明確に伝える」との内容を43年ぶりに復活させました。

また、先日、登校指導中に借宿堺田の交差点で、横断歩道の信号が青になり渡ろうとしている時に、車両信号が赤なのにもかかわらず、横断しようとしている生徒を見つけて、慌てて急ブレーキをかけた車両がありました。生徒には信号機のある横断歩道でも、車が来ないかを確認し、来ている場合は確実に車が止まってから横断するように指導をしました。

「手を上げて、渡る合図に待つ車」を意識した横断を

